

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Utility of follow-up tests for detecting recurrent disease in patients with malignant melanomas	
	論文の日本語タイトル	悪性黒色腫転移検出における各種検査法の有用性	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	MMC Q 2 3－5	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	Ⅰ．システマティック・レビュー／メタアナリシス Ⅱ．1つ以上のランダム化比較試験 Ⅲ．非ランダム化比較試験 Ⅳ．分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） Ⅴ．記述研究（症例報告やケースシリーズ） Ⅵ．患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（ Ⅳ ）	
	Pubmed ID	7474276	
	医中誌 ID		
	雑誌名	JAMA	
	雑誌 ID		
	巻	274	
	号	21	
	ページ	1703-5	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 2 ）	
	発行年月	1995、Dec 6	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Weiss, M.	Mayo Clinic
その他著者 1		Loprinzi, C. L.	
その他著者 2		Creagan, E. T.	
その他著者 3		Dalton, R. J.	
その他著者 4		Novotny, P.	
その他著者 5		O’Fallon, J. R.	
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			

一次研究の 8 項目	目的	悪性黒色腫転移検出における検査法の有用性を検証する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	North Central Cancer Treatment Group	
	対象者	261 人悪性黒色腫患者	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず（2）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず（3）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず（22）	
	介入（要因曝露）	定期的な	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	再発率	1.主要 2.副次 3.その他（1）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（）
	主な結果	145 人の評価可能な再発中 68%に何らかの再発を示唆する症状がみられた。26%は症状がなく、診察で発見され、6%は胸部 X 線で異常陰影がみられた。血液検査では再発を検出できなかった。	
	結論	転移の大部分は検査ではなく自覚症状や触診で発見されるので、定期的な血液検査や胸部 X 線検査の意義は限られる	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	八田尚人	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（IV） 定期検査の内容が血液（血算・生化学検査）、胸部 X 線のみであり、検出能が低いのは妥当な結果と思われる	